

中高一貫教育だより ③

「交流授業」スタート

二期期から、中高の教員が相互に訪問し、複数の教員で学習指導を行う「交流授業」が始まりました。新型コロナウイルスの影響で一学期は中止となっていましたが、感染症対策を十分に行ったうえで開始することができました。

中学校教員による高校での交流授業は数学・英語・理科の3教科で一年生の授業を中心にを行っています。生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、一人一人を大切にしている授業を中高教員の連携により展開しています。



▲交流授業の様子

高校教員による連携4中学校での交流授業は、国語・数学・英語・音楽・保健体育の5教科で行っています。中高の教員が連

■問い合わせ 周防大島高等学校
☎0820(77)1048

携して効果的な授業展開を研究し、中学生の基礎学力の定着や、発展的な内容をとおりして課題に対応する力の習得を目指しています。

交流授業によって、普段とは違った視点からの意見を取り入れることができ、中高ともに充実した授業を展開できています。

「異校種研修」が行われました

7月13日に、異校種研修が行われ、久賀中学校数学科の野村教諭が周防大島高校で研修を行いました。さまざまな教科の授業を参観し、その日に行われた数学の研究授業の研究協議にも参加しました。

特に研究協

議では、中学校と高校の現状を踏まえた意見交換がなされ、今後より一層中高で一人一人を大切にしている授業を実践するための良い機会となりました。



▲異校種研修の様子

おもてなしの島

観光から島の魅力を再発見！
Discover Island
— F U J I M O T O —

コロナ禍によりイベント行事の自粛や中止が相次ぐ中、そんな逆風に負けるものかと秋の行楽の王様「みかん狩り」が元気に開園しました！「みかんの島」としての誇りを背負う園主の皆さんの心意気に、私たち観光協会も大いに励まされました。

その想いに続けと食欲の秋を代表して、例年11月から解禁するみかん鍋が今年度は10月からフライング解禁しました！

また、みかん狩り農園とみかん鍋奉行会がタッグを組んで、10月の毎週土曜日に週替わりの農園にて、みかん鍋の無料振る舞いを行います。(先着50人限定)

「みかんの島」としての取り組み以外にも、山口

県も推進する安近短のマイクロツーリズムをはじめ、宿泊客誘致を目指す「星に願いを」キャンペーン、3密を避けてのアウトドア体験会など、一進一退のチャレンジに鋭意取り組んでいます。

コロナ禍の長いトンネルの出口はまだ見えていませんが、これまでに経験したことのない困難な状況だからこそ、正解のない中でも諦めることなく一歩ずつ観光を推し進めていくことで、瀬戸内のハワイやみかんの島の名に恥じない「おもてなしの島」としての矜持を正していきたいと思えます。

■問い合わせ

周防大島観光協会 ☎0820(72)2134